

投稿募集

『大原社会問題研究所雑誌』は、社会労働問題に関する学術研究雑誌で、「論文」「資料紹介」「調査報告」の投稿を受け付けております。下記の投稿規程と執筆要領に基づいてご投稿ください。規程と要領に沿わない原稿は受理できません。[2026.7.1改定]

投稿規程

1. 投稿原稿は未発表のものに限ります。
2. 投稿原稿の分量は、原則 20,000 字以内（脚注・図表・参考文献・スペースを含む）です。
3. 投稿原稿は、審査用原稿となりますので、本文や注などで執筆者が特定される記述をしないでください。1 ページ目は、原稿の題目に続けて無記名で本文に入ってください。
4. 原稿の採否は、本誌編集委員会が指定する審査員の査読を経て、本誌編集委員会が決定します。「論文」は審査の結果、「研究ノート」となることがあります。
5. 掲載原稿には、掲載誌 2 冊と抜刷 30 部をさしあげます。
6. 本誌に掲載された論文等の著作権は、大原社会問題研究所に帰属します。
7. 投稿者は、次のファイル一式を下記メールアドレス宛てに送信してください。

件名は【投稿（お名前）】としてください。

A：投稿原稿（審査用原稿）

B：投稿原稿の要旨（1,200 字程度）

C：表題紙

C の表題紙に記載する事項は、投稿原稿の、①題名、②目次、③分量（図表を除く文字数（スペースを含める））④図表の有無と数、⑤著者の氏名（よみがなを併記）、⑥肩書き（所属・職名、大学の場合は学部等まで）、⑦略歴、⑧連絡先（郵便番号、住所、電話番号、電子メールアドレス）です。

『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会宛て

【メールアドレス】ohara-journal@hosei.ac.jp

投稿原稿 執筆要領

1. A 4 判の横書き、40 字×40 行、下部にページ数を付す。
2. 原則として、数字は算用数字、句読点は「、」と「。」を用いる。
3. 本文の各節には「.」のない 1 2 …を用いる。
4. ワードプロソフトによる脚注の挿入機能は使用してよい。
5. 図表は、白黒印刷できるものを提出する。本文には余白に【表 1】等と挿入場所を指定し、図表そのものは別紙に一括し、通し番号をつける。図表の文字換算数は定めないが、審査にあたっては、図表の大きさで全体の分量を概算する。
6. 参考文献は、著者名・発行年・論文名・雑誌名（書籍名）・巻号（出版社）・雑誌の場合は頁数を記述し、著者名（姓）のアルファベット順または五十音順に記載する。ただし他の記載方法も可とする。

【記載例】

榎一江（2022）「感染症と社会政策——近代日本における非常時と政策形成」『社会政策』13 巻 3 号、16-27 頁

鈴木玲（2021）「化合労連の公害問題への取り組みと新日窒労組の水俣病闘争」富田義典・花田昌宣・チッソ労働史研究会編『水俣に生きた労働者——チッソと新日窒労組の 59 年』明石書店

Suzuki, Akira (2023) “Organizing Temporary Agency Workers in Japan: Two Types of Inclusive Union Responses,” in Huiyan Fu (ed.), *Temporary and Gig Economy Workers in China and Japan: The Culture of Unequal Work*, Oxford University Press.